

図研エルミック株式会社 決算説明会

(東証第二部：コード4770)

2018年5月23日

代表取締役社長 朝倉 尉

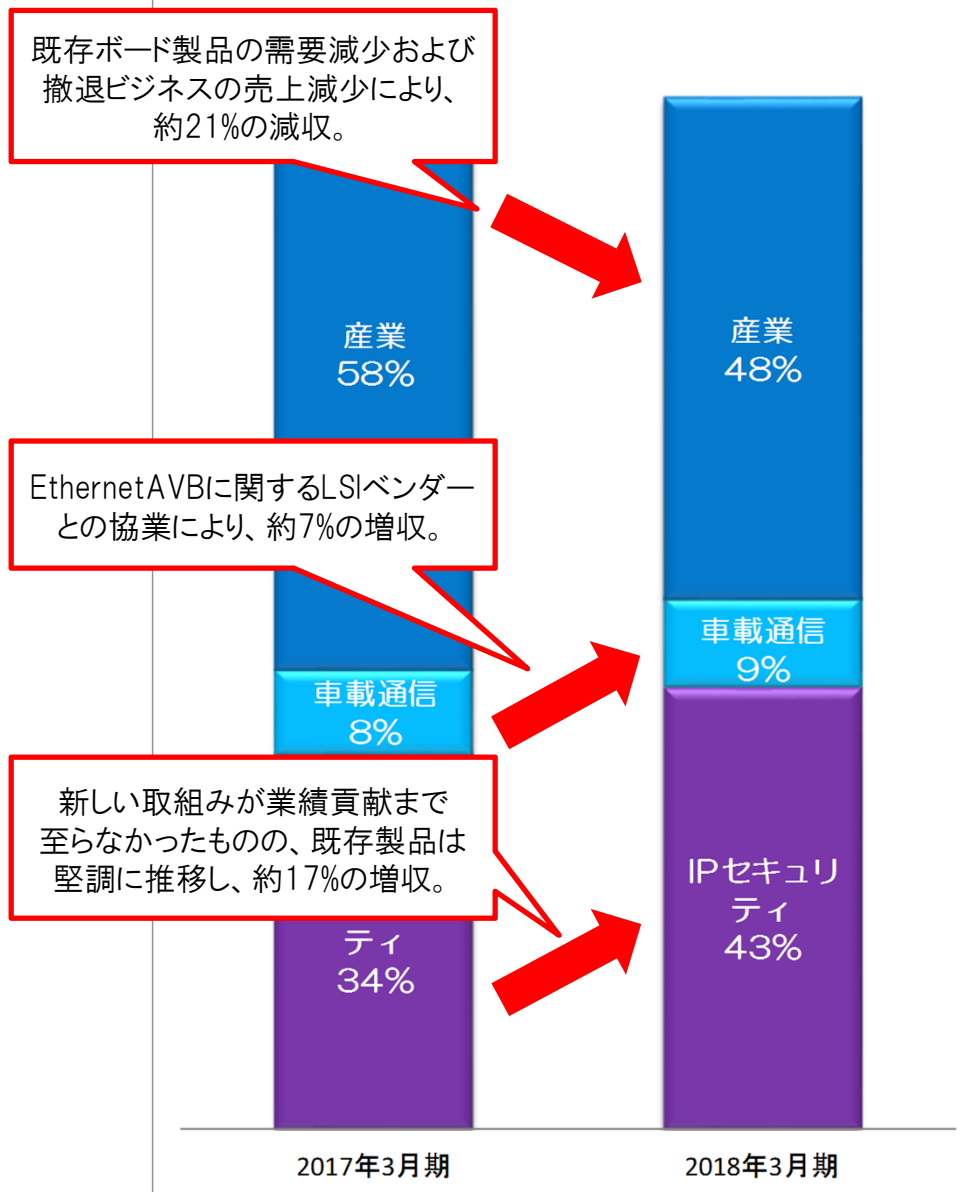
2018年3月期 業績概要

2018年3月期 業績ハイライト

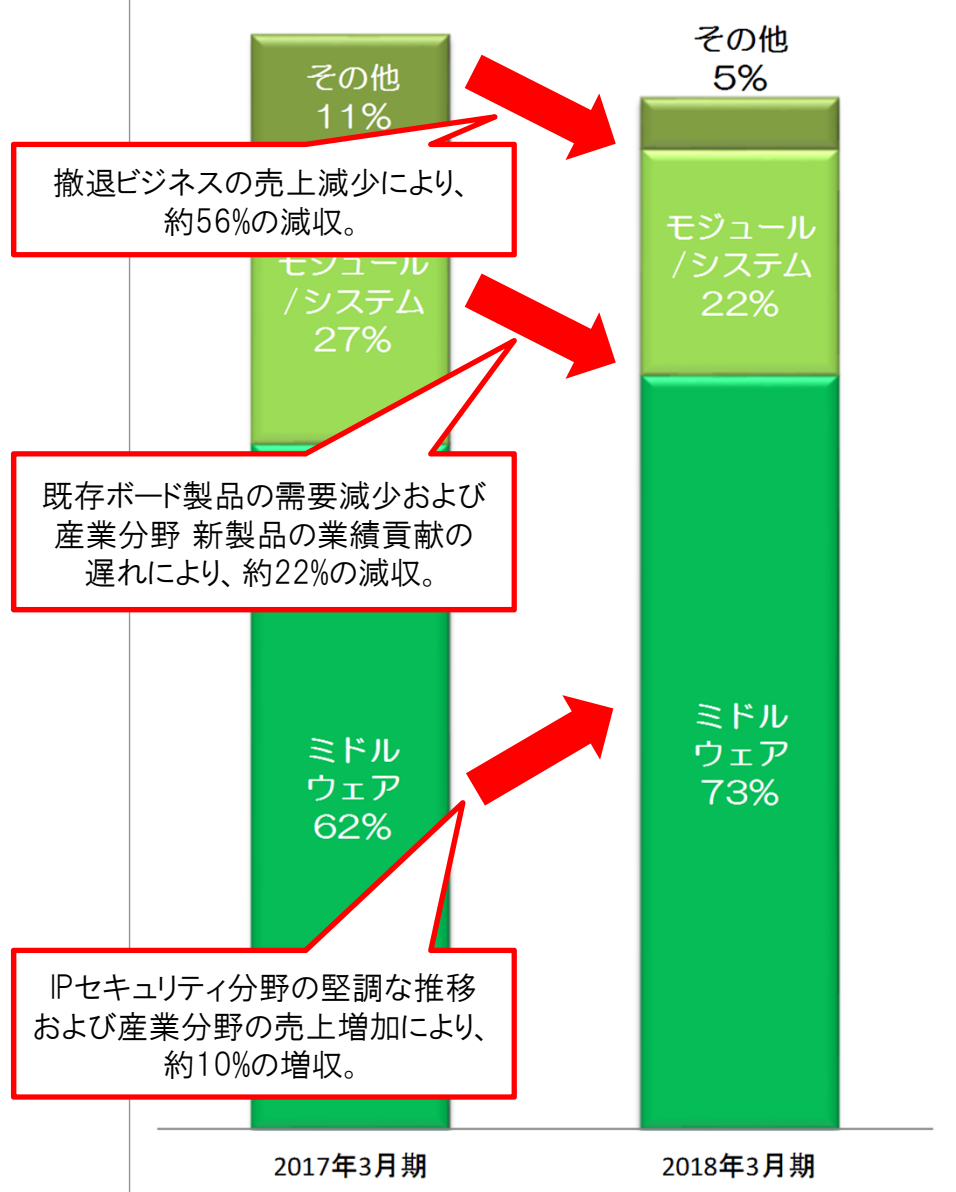
41期 (単位:百万円)	上半期		下半期		通期	
	実績	前年同期 増減	実績	前年同期 増減	実績	前年同期 増減
売上高	370	+28	464	▲77	834	▲49
売上総利益	185	+13	222	▲87	408	▲73
販管費	203	▲52	182	▲30	385	▲82
営業利益	▲17	+65	40	▲56	22	+8
経常利益	▲17	+66	40	▲56	22	+9
当期純利益	▲19	+66	58	+55	38	+122

- 衰退/撤退ビジネスの売上減少および新規ビジネスの業績貢献遅れにより、減収。
- 2017年3月期の事業見直しに伴う人員減等により販管費が最適化し、増益。
- 特別損失の解消および繰延税金資産の計上により当期純利益は大幅改善。

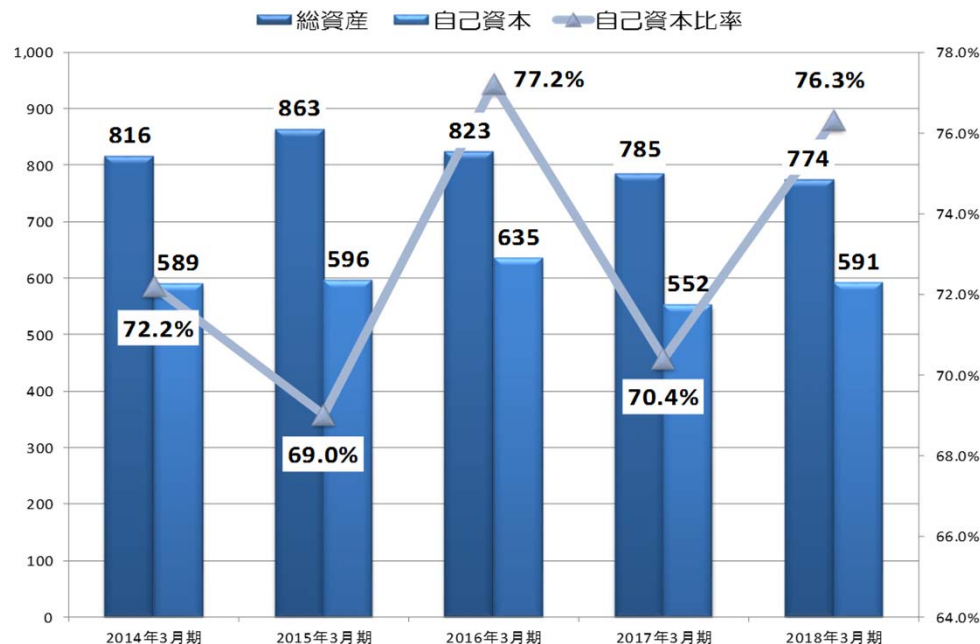
ターゲット分野別 売上高比率



製品別 売上高比率

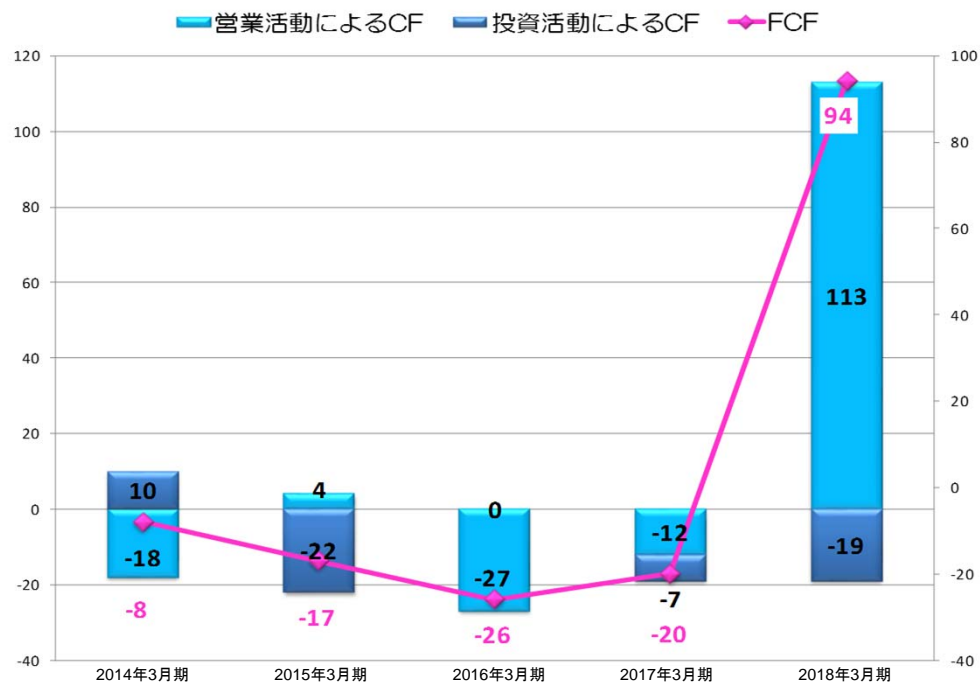


2018年3月期 財務ハイライト



現金及び預金が91百万円増・受取手形9百万円増・売掛金82百万円減・仕掛品が11百万円減・未収入金7百万円減したことにより**流動資産が8百万円減少**し、繰延税金資産21百万円増・ソフトウェア5百万円増・長期前払費用29百万円減少したことにより**固定資産が2百万円減少**したため、**資産合計は7億74百万円**（10百万円減少）となりました。

また利益剰余金が38百万円増加したことにより、**純資産合計につきましては5億91百万円**となり、自己資本比率も約76%となりました。



前受収益減少46百万円・仕入債務減少17百万円があったものの、税引前当期純利益22百万円、売上債権減少75百万円、前払費用の減少31百万円、減価償却費17百万円、たな卸資産の減少13百万円等により、**営業活動の結果得られた資金は、1億13百万円**となりました。

またフリーキャッシュフローは94百万円の増加となりました。

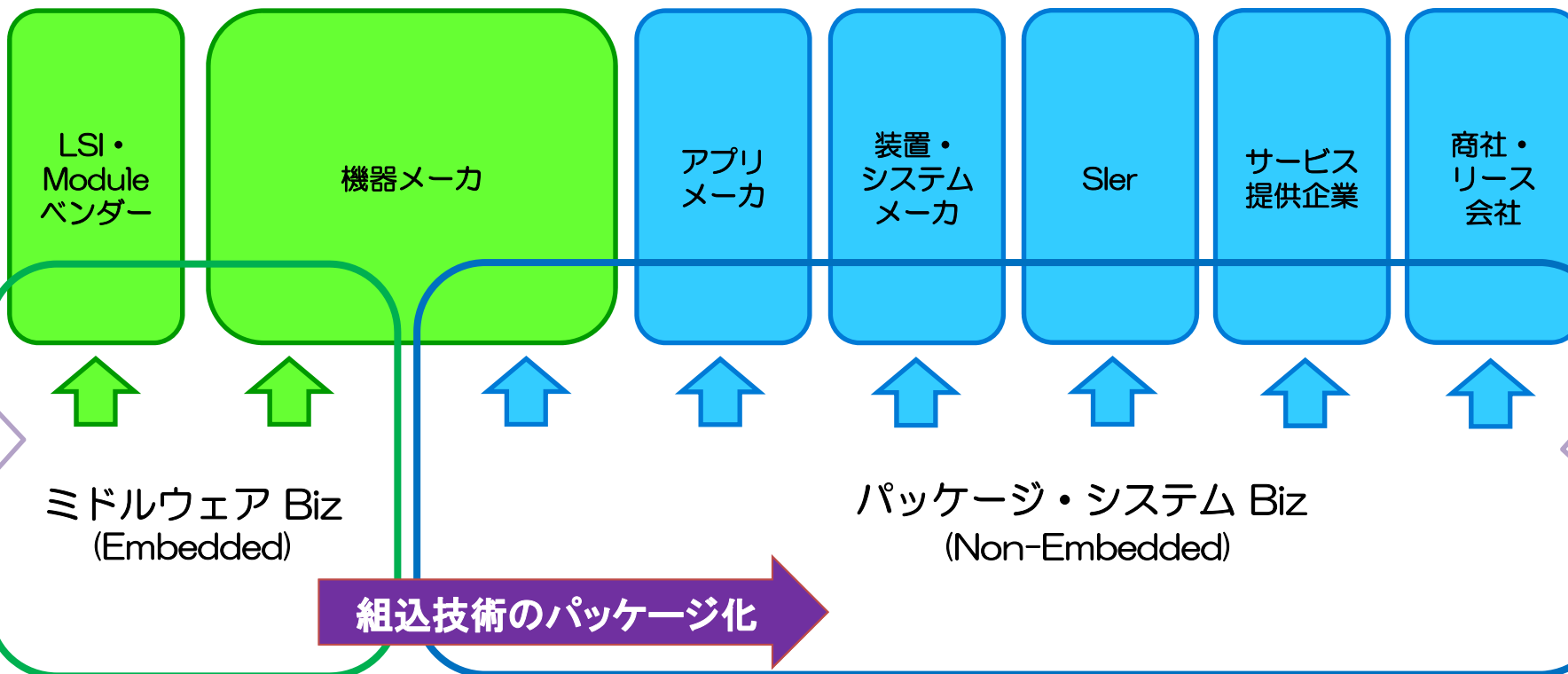
2019年3月期業績予測と重点取組み

組込ビジネスとPKGビジネスを展開

システム・サービスのユーザ (ビル・ストア・住宅・自治体・交通・病院・工場 …)
(映像セキュリティ分野・産業通信分野)

産業分野を中心に新製品を拡充

PCセキュリティ分野・産業分野において、
PKG製品を拡充し、組込以外のBizを推進



図研エルミック

開発計画や規格普及の影響を受け難く、リソース依存が低い、安定的な事業の拡大を目指す。

Ethernet AVB/TSNの普及によりビジネス機会が拡大

- 展望： TCP/IPは、既存ユーザを中心とした安定的な業績推移を予測。
2018年度以降、車載分野でのEthernet AVBの普及が進む予測。
Ethernet TSNは産業分野を中心に2020年頃から本格利用が進むと予測。

Ethernet AVB / Ethernet TSN (計画)

AVBは2018年度, 2019年度に車載分野を中心に普及が進むと予測。

LSIベンダーとの協業を推進し、2020年度からのRoyalty収入実現に向けた活動に注力。

TSNは2020年度頃から産業分野が先行し、普及が進むと予測。現在、顧客と共同で進めている基礎開発から製品化を計画し、AVB同様、LSIベンダーとの協業による事業拡大を計画。

TCP/IP (KASAGO)

当社が多くのユーザを抱える製品。飛躍的な成長は想定できないが、多くのユーザを中心とした一定レベルの安定的な業績確保を推進。

Safety製品拡充, 次世代FA Protocolによりビジネス拡大

- 展望： 産業分野におけるSafety(機能安全)対応は確実に進む予測。
サービスビジネスの追加、他Safety Protocolの製品化により売上増加を計画。
次世代FA Protocol製品を投入し、2019年度以降のビジネスに繋げる。

FA Safety

CC-Link IE Safetyは、2018年から徐々に顧客での採用が進む手応え。
パートナー企業との協業により、ライセンス提供に加え、認証取得サポート・開発コンサルティング等を提供し、顧客開発業務全体をビジネス対象とし、売上拡大を推進。

2018年度に他Safety Protocolの製品化(計画)を行い、複数Protocol提供によるビジネス拡大を計画。

FA Protocol

CC-Link IEF BASICの拡販を推進しつつ、次世代FA Protocol製品(計画)を投入し、2019年度以降のビジネス拡大を推進。

活用事例の横展開と販路強化によりビジネス拡大

- 展望： 産業分野における映像活用ニーズは確実に拡大。
当社ユーザでの使用事例の横展開、ユーザからのリピート需要で売上拡大予測。
販社との関係強化および協業製品の拡充によりビジネスチャンス増加。

チョコ停Finder / FA Viewer

チョコ停Finder(チョコ停の映像化)は、2017年度において多くの採用実績を獲得。これら事例の横展開およびユーザからのリピート需要により売上増加予測。また、FA系販社との協業も進み、商談数が増加。画像解析技術などパートナー製品との連携によるビジネス機会の拡大も推進。

FA分野において汎用的に映像を扱うFA Viewerを2018年度上半期に製品リリースし、FA分野でのビジネス機会の増加に取り組む計画。

GateWay Middleware

FA分野での映像活用に必要な基礎技術。三菱グループ各社との共同開発などにより、一定の売上確保と新技術への対応を推進。

ONVIF規格追従とPKGビジネスによりビジネス拡大

- 展望： ONVIFは、引き続き安定的な業績推移を予測。
ONVIF ProfileT対応製品をリリースし、更なるビジネス機会の増加を推進。
PKG製品を投入し、システムユーザ層の獲得および売上規模の拡大を目指す。

Streaming PKG (計画)

組込向けの単機能製品を纏め、映像/音声Streamingを扱うシステム/インフラ構築に必要なPKGを製品化し、組込以外の顧客獲得および商談規模の大型化を推進。

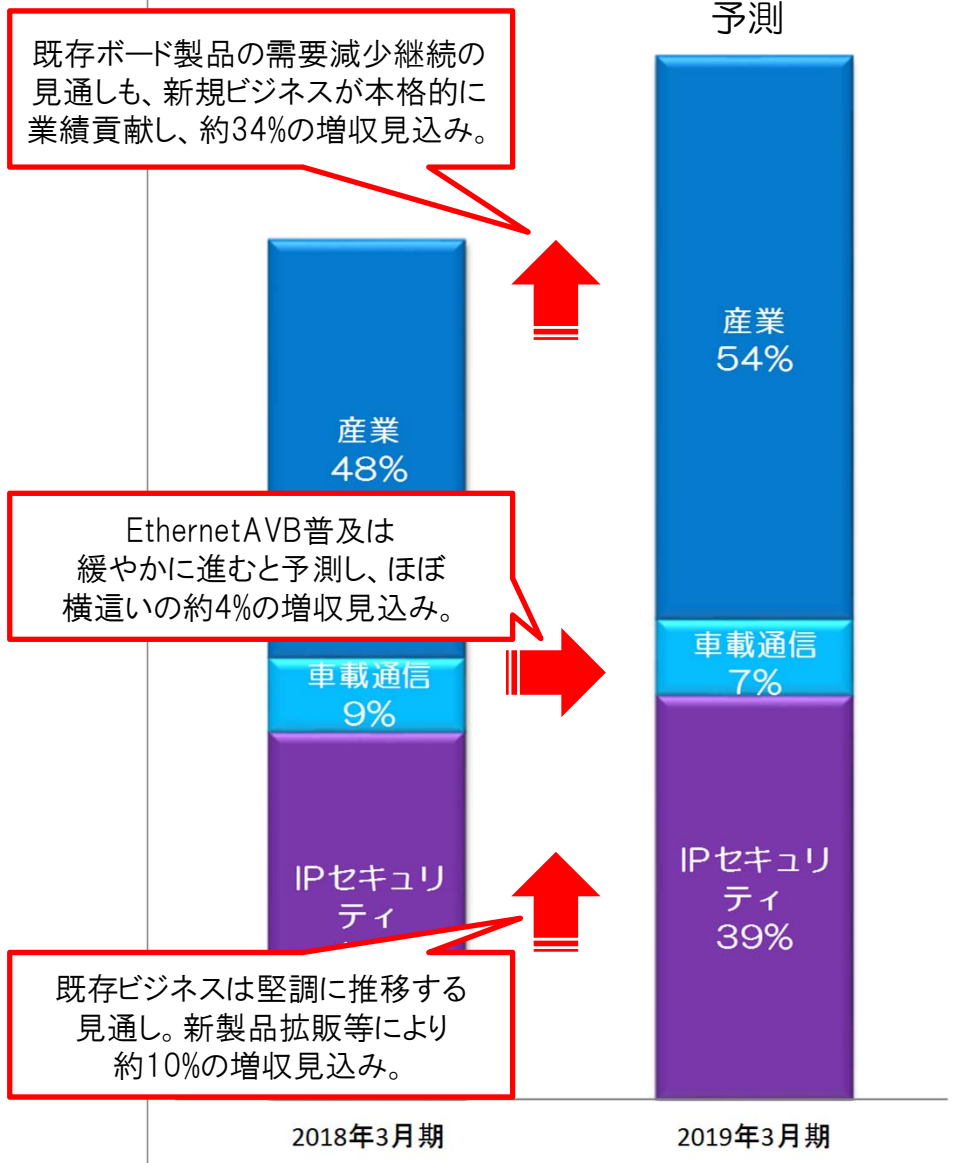
大手SIer系列企業との協業を通じ、製品化と販路獲得を推進。

ONVIF

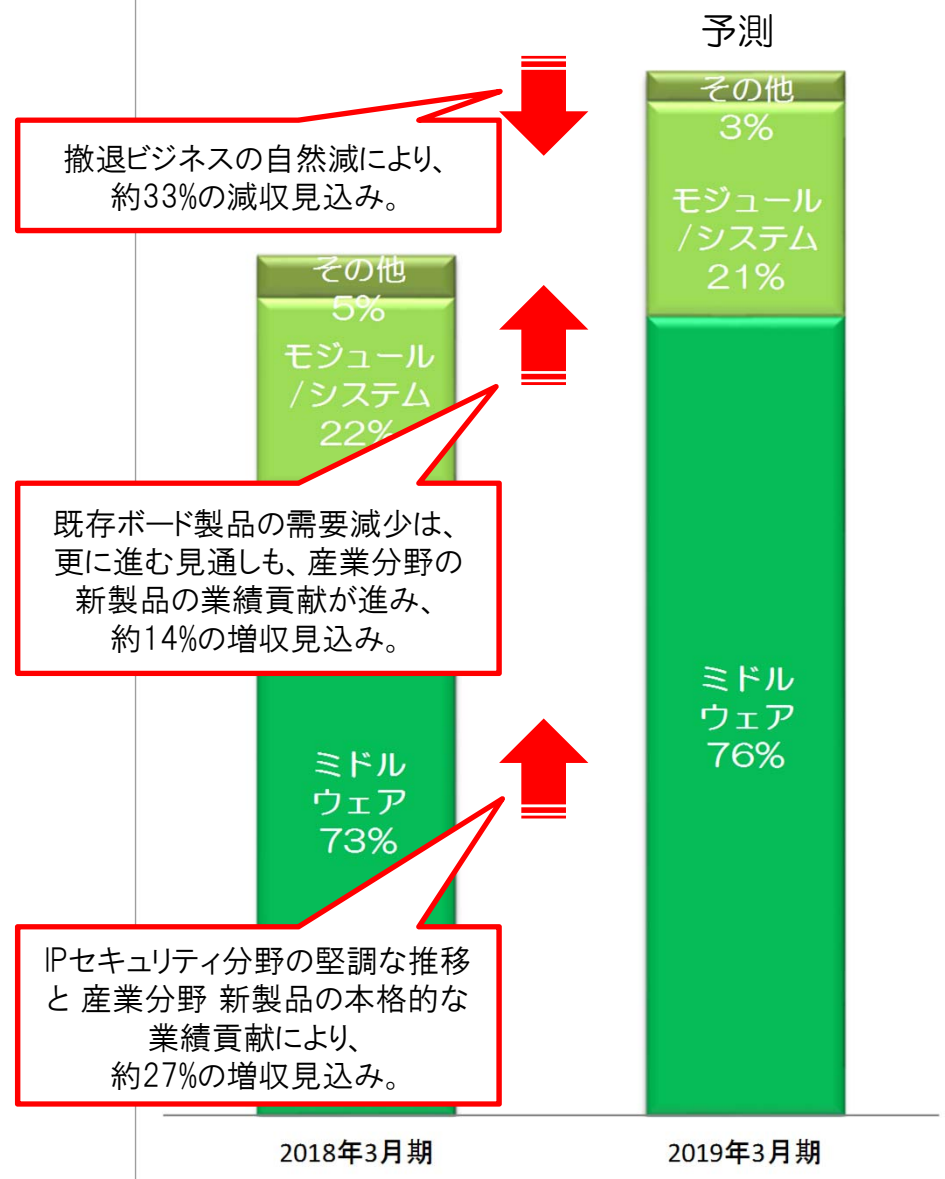
現在、当社売上の中心であり、堅調なビジネス。継続的な取引を行っているユーザ・新規顧客商談が多く、一定レベルの安定的な売上確保を予測。

ONVIF規格の追従を継続し、2018年度上半期には、ProfileT対応製品をリリースし、更なる活性化を推進。

ターゲット分野別 売上高比率



製品別 売上高比率










(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期	
	実績	予測	前年同期増減
売上高	834	1,010	+176
営業利益	22	40	+18
経常利益	22	40	+18
当期純利益	38	28	▲10







- 売上高10億円を回復させ、増収増益を見込む。
- 新製品開発・新規事業向けに、前年同期比約1.4倍の研究開発費を計画。
- 産業分野ならびにIPセキュリティ分野の新製品/新規ビジネスの業績貢献を予測。
- 組込分野以外への製品投入により、売上高増加と新たなビジネスモデルの構築を推進。
- 税効果会計の影響については、業績予想に含まず。

- ご注意 -

本プレゼンテーション資料および図研エルミック代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

会社紹介

	<p>株式会社 図研</p>	<p>国産初のCAD/CAMシステムを開発して依頼、日本および世界のモノづくりを支えてきました。次世代電子機器設計プラットフォーム「CR-8000」シリーズは、設計・製造に存在するあらゆる境界線を取り除き、エレクトロニクス設計におけるさらなる価値づくりに貢献します。</p> <p>●設立：1976年12月17日 ●資本金：101億1706万円</p>
	<p>図研エルミック(株)</p>	<p>組込みシステム開発で重要となるミドルウェアライブラリの開発、ソフトウェア開発・サポート、ハードウェア開発・販売などを行っています。</p> <p>●設立：1977年4月30日 ●資本金：5億円</p>
	<p>図研テック(株)</p>	<p>EDAシステム、ITシステムの導入・立ち上げ・運用に関するコンサルティング、オンサイトマネージャ・エンジニア派遣、カスタムソフト開発など、お客様のアウトソーシングのご要望に幅広く対応しています。</p> <p>●設立：1997年5月15日 ●資本金：1億4,770万円</p>
	<p>図研ネットウェイブ(株)</p>	<p>ネットワークに関するシステム構築コンサルティング、同ハードウェア・ソフトウェアの販売、サポート、新技術を用いた情報処理サービスなどを行っています。</p> <p>●設立：2001年4月9日 ●資本金：1億5,000万円</p>
	<p>(株)図研プリサイト</p>	<p>「3D」、「BOM」、「ナレッジ」を活用したモノづくり支援ITソリューションを開発・販売しています</p> <p>●設立：2007年5月1日 ●資本金：3億円</p>
	<p>(株)ダイバーシンク</p>	<p>製造業における設計・製造の効率化・最適化を支援するソリューションの企画・開発などを行っています。</p> <p>●設立：2015年2月10日 ●資本金：1億円</p>
	<p>アルファテック(株)</p>	<p>「ACAD-DENKI」の開発・販売・サポート、2D/3D汎用メカニカルCADの販売やカスタマイゼーションなど、主にメカトロニクス分野の顧客に対して様々なソリューションとサービスを提供しています。</p> <p>●設立：1986年2月 ●資本金：5,700万円</p>

社名	図研エルミック株式会社		
設立	1977年4月30日		
資本金	500,000,000円 (2018年3月31日現在)		
事業内容	ミドルウェア製品及びシステム・モジュール製品の開発ならびに販売		
従業員数	50名 (2018年3月31日現在)		
事業所	本社 (横浜市港北区新横浜3-1-1図研新横浜ビル) 大阪営業所 (大阪市淀川区西中島4丁目3番22号新大阪長谷ビル8階)		
役員	代表取締役会長 代表取締役社長 取締役(事業戦略室 CSO) 取締役(管理本部長) 取締役(常勤監査等委員・社外取締役) 取締役(監査等委員・社外取締役) 取締役(監査等委員)	勝部 迅也 朝倉 尉 下条 雅人 江口 慎一 西 伸孝 木村 廣隆 相馬 肅一	
加盟団体	IPv6 Ready Logo Program ONVIF e-F@ctory Alliance CC-Link協会 Secure IoT Alliance CAR CONNECTIVITY consortium	   	 

- 1977 (株)エルミックシステムを横浜市に設立
- 1983 ELXシリーズ(ELX-86M)販売開始
- 1998 組込専用インターネットプロトコル(KASAGO TCP/IP)販売開始
- 2000 東証マザーズ上場(7月25日)
- 2002 KASAGO IPv6 販売開始
- 2005 ウェスコム社と合併し、エルミック・ウェスコム(株)に
IPv6 Ready Logo Phase-2 取得
- 2006 IPSec 販売開始
- 2007 SIP 販売開始
- 2008 (株)図研と業務資本提携
- 2009 (株)図研よりSoC事業部を分割吸収(6月)
社名を図研エルミック(株)に(7月)
IPセキュリティ向けミドルウェア(RTP, ONVIF) 販売開始
- 2011 ONVIF NVS部ライブラリ(IPrec) 販売開始
IPSec/IKEv2 販売開始
- 2012 SS無線LANモジュール(Ze-Module WLAN) 販売開始
MirrorLink対応ミドルウェア(Ze-PRO Mirror) 販売開始
ONVIF Profile-S対応ミドルウェア(IPcam-PS, IPmon-PS) 販売開始
- 2013 ECOHNET Lite対応ミドルウェア(ECOH Lite) 販売開始
- 2014 東証市場第二部へ市場変更(8月1日)
ルネサスエレクトロニクス殿と車載Ethernetミドルウェア(Ethernet AVB)の
共同開発を開始
JVCケンウッド殿とセキュリティネットワークとFAネットワークを連携させる
ソリューション(ONVIF/CC-Link IE Field GateWay)の共同開発を開始
HTTP Streaming, RTMP対応ミドルウェア(Ze-PRO HSL/RTMP)販売開始
- 2015 生産現場の「見える化」を実現するONVIF/CC-Linkゲートウェイソリューション
評価キット(Ze-PRO F/S EVA)販売開始
ファイル共有プロトコル(KASAGO CIFS)販売開始
車載向けEthernet AVB対応ミドルウェア(Ze-PRO AVB)販売開始
- 2016 画像/音声の多重化/分離ミドルウェア(Ze-PRO MP4 Mux / TS Mux / MP4 Demux)
販売開始
H.265/HEVC規格対応ミドルウェア(Ze-PRO RTP)を出荷開始
チョコ停要因の特定にかかるコストを削減するアプリケーションパッケージ
(チョコ停Finder)販売開始
- 2017 創立40周年(4月30日)
マルチプラットフォーム対応ストリーミングビューワー開発環境(Ze-PRO SCP)
販売開始
機能安全通信ソフトウェア開発環境(Ze-PRO CC-Link IE Safety SDK)販売開始
CC-Link IEフィールドネットワークBasic準拠プロトコルスタック
(Ze-PRO CC-Link IEF BASIC)販売開始
Edgecrossコンソーシアムへの参画を発表
- 2018 大日本印刷殿とMulti-Peer VPNの代理店契約を締結
ONVIF Profile-T対応ミドルウェア発売を発表

